

「かつおへの愛着度とかつお食文化」に関して
調査結果

2026.4.22

「シン・鯉乃國プロジェクト」推進協議会

1. 調査の目的

高知県中西部に位置する土佐久礼(中土佐町久礼地区)は、400年以上かつお一本釣り漁が続く、地区の人口3,706人(2026年3月時点)の漁師町である。この町には、かつおを「釣る」「売る」「食べる」3つのプロがそろっており、地元・高知県民が美味しいかつおを求めてわざわざ食べにくる町としても知られている。

本調査では、全国のかつお消費傾向や、かつおへの思いを調査する中で「かつおの町」として、より多くの方に土佐久礼の町とかつおの魅力を知っていただくとともに、かつおの食文化にも関心を持っていただくことを目的とする。

2. 調査の実施概要

○ 土佐久礼地区住民向けアンケート調査

【調査期間】 2025年11月

【調査対象者】 1,000人/久礼地区在住の20～75歳の男女

【有効回答者】 386人

【調査方法】 人口年齢構成に準じた郵送・インターネット調査

※郵送でのアンケートにおいて、一部項目で未回答が見られたため、回答比率合計が100%に達していない箇所があります。

○ 全国47都道府県アンケート調査

【調査期間】 2026年2月～3月

【調査対象者】 各都道府県1,000人(計47,000人)

/20～75歳の男女

【有効回答者】 44,982人

【調査方法】 人口年齢構成に準じたインターネット調査
(ネットリサーチツール「freeasy」登録モニター)

3. 調査設計

土佐久礼および各都道府県において、各1,000人を対象に調査を実施。アンケート回収後に矛盾する回答を特定し、集計から除外・修正する作業(データクリーニング)を行い、有効回答数とした。

実用的な妥当性とされる「信頼度95%・誤差±5～6%程度」を確保するため、有効回答数300人以上を目標とした。

4. 比較調査

総務省家計調査(※)で日本一のかつお消費量を誇る高知市の傾向を把握するため、以下の抽出方法により比較調査を実施した。

<抽出方法>

高知県全体の有効回答者775名に対し、居住地に関する追加アンケートを実施。その結果、高知市居住者378名の有効なサンプルを抽出、高知市居住者に絞り込んで傾向を調査した。

※総務省の家計調査(二人以上の世帯)品目別都道府県庁所在市及び政令指定都市ランキング、かつお(生鮮)の1世帯当たり年間支出金額および購入量(2023～2025年平均)

●47都道府県 回答者数

	回答者数 (人)	有効回答者数 (人)	有効回答率
北海道	1,000	972	97.2%
青森県	1,000	990	99.0%
岩手県	1,000	981	98.1%
宮城県	1,000	985	98.5%
秋田県	1,000	975	97.5%
山形県	1,000	987	98.7%
福島県	1,000	984	98.4%
茨城県	1,000	988	98.8%
栃木県	1,000	985	98.5%
群馬県	1,000	971	97.1%
埼玉県	1,000	976	97.6%
千葉県	1,000	985	98.5%
東京都	1,000	980	98.0%
神奈川県	1,000	978	97.8%
新潟県	1,000	978	97.8%
富山県	1,000	976	97.6%
石川県	1,000	969	96.9%
福井県	890	867	97.4%
山梨県	894	872	97.5%
長野県	1,000	975	97.5%
岐阜県	1,000	974	97.4%
静岡県	1,000	980	98.0%
愛知県	1,000	982	98.2%
三重県	1,000	977	97.7%
滋賀県	1,000	988	98.8%
京都府	1,000	990	99.0%
大阪府	1,000	974	97.4%
兵庫県	1,000	970	97.0%
奈良県	1,000	983	98.3%
和歌山県	1,000	978	97.8%
鳥取県	799	794	99.4%
島根県	821	815	99.3%
岡山県	1,000	986	98.6%
広島県	1,000	985	98.5%
山口県	1,000	991	99.1%
徳島県	928	912	98.3%
香川県	1,000	983	98.3%
愛媛県	1,000	983	98.3%
高知県	779	775	99.5%
福岡県	1,000	974	97.4%
佐賀県	823	802	97.4%
長崎県	1,000	980	98.0%
熊本県	1,000	982	98.2%
大分県	1,000	972	97.2%
宮崎県	929	909	97.8%
鹿児島県	1,000	988	98.8%
沖縄県	1,000	981	98.1%
全国	45,863	44,982	98.1%

●高知市 回答者数

	回答者数 (人)	有効回答者数 (人)	有効回答率
高知市	379	378	99.7%

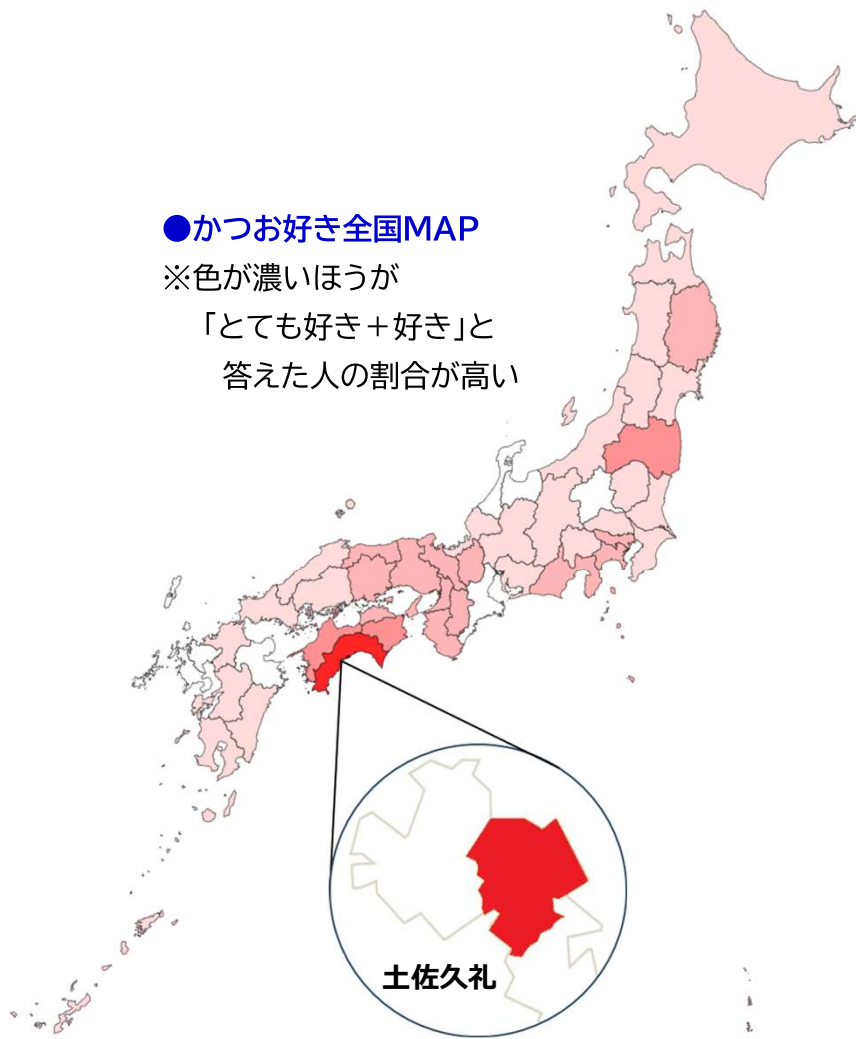
●土佐久礼地区 回答者数

	回答者数 (人)	有効回答者数 (人)	有効回答率
土佐久礼	386	386	100.0%

- 土佐久礼で「とても好き+好き」と答えた人は合計81.3%で、愛着度の高い高知県(76.1%)を上回り、**47都道府県平均(59.1%)と比の約1.4倍**という結果(※1)。調査地域内で日本一かつおへの愛着度が高いといえる。
- また、総務省家計調査(※2)で日本一のかつお消費量を誇る高知市を抽出調査したところ、「とても好き+好き」と答えた人は合計76.5%であり、こちらも上回っている。
- 土佐久礼で「嫌い+とても嫌い」は1.3%にとどまり(平均8.7%)、「**かつおが嫌いな人がほとんどいない町**」という点も特徴。
- 四国の県はトップ10にランクイン。6位の京都はQ3で「塩焼き」「かつお節」などの比率が相対的に高く、「生魚としてのかつお」よりも「出汁・乾物・焼き魚」としての文化に根ざした地域であることがうかがえる。

●「とても好き+好き」の割合ランキング ※単位(%)

順位	エリア	とても好き 好き	どちらとも いえない	嫌い とても嫌い
1	土佐久礼	81.3	15.3	1.3
2	高知県	76.1	19.1	4.8
3	愛媛県	67.7	26.0	6.3
4	福島県	65.5	25.1	9.3
5	徳島県	65.4	26.4	8.2
6	京都府	63.4	29.2	7.4
7	大阪府	63.3	29.0	7.7
8	岩手県	63.2	29.1	7.7
9	香川県	63.2	29.0	7.8
10	東京都	63.1	29.4	7.6
11	兵庫県	62.8	30.2	7.0
12	和歌山県	62.1	30.5	7.5
13	奈良県	62.0	31.2	6.8
14	岡山県	61.7	30.3	8.0
15	静岡県	61.0	30.0	9.0
16	鳥取県	60.8	33.9	5.3
17	滋賀県	60.7	33.1	6.2
18	神奈川県	60.6	30.8	8.6
19	千葉県	60.0	29.9	10.1
20	宮崎県	59.8	29.8	10.3
21	広島県	59.8	32.6	7.6
22	山形県	59.8	30.6	9.6
23	島根県	59.8	33.9	6.4
24	沖縄県	59.7	32.8	7.4
25	宮城県	59.4	30.1	10.6
26	愛知県	59.3	33.1	7.6
27	長野県	58.9	31.7	9.4
28	鹿児島県	58.3	32.6	9.1
29	岐阜県	58.0	32.8	9.2
30	新潟県	57.6	31.7	10.7
31	茨城県	57.4	32.5	10.1
32	青森県	56.8	34.0	9.2
33	熊本県	56.5	34.7	8.8
34	秋田県	56.2	32.6	11.2
35	栃木県	56.1	33.7	10.2
36	福井県	55.6	35.8	8.7
37	山梨県	55.5	35.7	8.8
38	北海道	55.3	33.6	11.0
39	福岡県	55.1	35.9	8.9
40	山口県	55.1	36.8	8.1
41	埼玉県	55.0	34.8	10.1
42	長崎県	54.9	36.1	9.0
43	石川県	54.8	37.2	8.0
44	大分県	54.6	37.1	8.2
45	三重県	54.5	34.1	11.5
46	佐賀県	54.2	36.8	9.0
47	群馬県	52.8	36.7	10.5
48	富山県	48.4	40.4	11.3
47都道府県平均		59.1	32.2	8.7



※1:本調査は各都道府県1,000人ずつ均等に回収しており、人口比による加重修正を行っていないため、単純な全国平均とは異なる。
 ※2:総務省の家計調査(二人以上の世帯)、カツオ(生鮮)の1世帯あたり年間支出金額および購入量(2023~2025年平均)

●「毎日+週1回程度」の割合ランキング ※単位(%)

順位	エリア	毎日	週に1回程度	月に1回程度	3ヶ月に1回程度	半年に1回程度	半年に1回未満	カツオを食べたことがない	わからない
1	土佐久礼	4.9	35.0	33.4	10.9	6.5	4.1	0.8	1.8
2	高知県	1.0	18.6	36.4	16.4	8.4	13.5	1.2	4.5
3	宮城県	1.5	5.9	18.8	20.1	15.7	24.7	2.7	10.6
4	兵庫県	0.7	6.0	17.2	20.8	15.5	24.8	4.1	10.8
5	奈良県	1.0	5.5	19.9	21.4	13.4	26.7	2.4	9.7
6	秋田県	1.0	5.4	17.2	16.4	15.5	26.2	5.8	12.4
7	福島県	1.4	5.0	16.8	19.7	15.3	28.6	2.9	10.3
8	長野県	1.1	5.2	16.8	18.6	14.2	28.2	4.1	11.8
9	山口県	1.1	5.2	14.3	17.1	13.1	32.2	3.4	13.5
10	東京都	0.9	5.3	15.3	18.7	17.1	30.6	3.3	8.8
11	愛媛県	1.1	5.1	18.2	18.8	15.7	27.4	3.2	10.6
12	鹿児島県	1.4	4.8	17.4	17.8	13.0	29.5	3.0	13.2
13	大阪府	1.2	4.9	18.1	19.8	13.4	29.5	3.1	10.0
14	石川県	1.4	4.4	12.2	16.9	15.4	33.1	5.0	11.6
15	滋賀県	0.6	5.3	14.9	21.7	13.1	28.7	2.2	13.6
16	新潟県	0.8	4.7	18.2	17.2	14.8	28.4	4.6	11.2
17	岩手県	0.8	4.7	19.1	22.0	16.7	25.1	1.9	9.7
18	徳島県	0.4	5.0	21.1	18.6	14.0	27.4	2.9	10.5
19	青森県	0.9	4.5	16.3	16.8	15.7	28.1	5.7	12.1
20	千葉県	1.0	4.4	15.3	18.2	15.2	32.0	4.9	9.0
21	茨城県	1.0	4.4	16.0	19.9	15.2	28.0	5.3	10.2
22	京都府	0.2	5.2	20.1	20.6	14.0	28.7	3.1	8.1
23	福井県	1.0	4.3	13.5	15.1	15.3	33.3	3.8	13.6
24	宮崎県	1.0	4.3	17.2	16.4	15.4	27.5	2.0	16.3
25	山形県	0.8	4.5	17.5	22.4	14.9	25.0	4.9	10.0
26	長崎県	1.0	4.2	11.0	16.8	11.8	34.7	4.5	15.9
27	香川県	1.1	4.1	20.1	19.3	15.6	26.9	2.7	10.2
28	岡山県	0.5	4.6	17.3	18.2	15.4	30.5	2.6	10.9
29	熊本県	1.1	3.9	12.2	14.5	15.4	31.6	5.0	16.4
30	沖縄県	1.0	3.6	12.7	16.4	13.8	34.9	4.3	13.4
31	広島県	0.7	3.9	16.5	16.1	13.7	32.6	3.5	13.0
32	北海道	1.1	3.4	15.2	17.3	11.0	30.8	5.7	15.5
33	島根県	0.7	3.7	15.5	15.8	15.7	32.6	2.6	13.4
34	鳥取県	0.8	3.7	15.6	15.5	17.0	30.6	2.8	14.1
35	群馬県	0.6	3.7	10.9	15.6	15.3	33.9	6.0	14.0
36	福岡県	0.8	3.5	11.1	15.4	14.3	36.7	5.2	13.0
37	和歌山県	0.9	3.4	16.9	20.7	17.1	24.7	2.7	13.7
38	三重県	0.7	3.5	16.1	17.3	19.0	29.0	3.9	10.5
39	栃木県	0.6	3.6	15.5	18.3	15.2	31.3	4.5	11.1
40	埼玉県	0.4	3.7	14.9	16.6	14.7	33.5	6.4	9.9
41	神奈川県	0.5	3.6	14.4	19.5	17.1	31.0	5.1	8.8
42	愛知県	0.3	3.8	15.3	15.8	14.4	34.4	4.5	11.6
43	岐阜県	1.0	2.9	15.1	18.6	14.8	31.5	4.2	11.9
44	静岡県	0.5	3.4	16.0	19.6	16.1	30.6	4.0	9.8
45	大分県	0.7	3.0	11.4	13.4	15.4	37.0	4.2	14.8
46	富山県	0.7	2.8	11.0	14.7	16.1	38.0	4.3	12.5
47	山梨県	0.7	2.8	14.7	15.5	16.5	34.2	4.1	11.6
48	佐賀県	0.9	1.9	9.9	14.7	15.8	39.3	2.6	15.0
47都道府県平均		0.9	4.5	16.1	17.9	14.9	30.2	3.9	11.8

●「毎日+週1回程度」が、高知県(19.6%)が平均(5.4%)と比べて非常に高いが、土佐久礼(39.9%)はさらに高く、**47都道府県平均を大きく上回る超高頻度のヘビーユーザー地域**である。あわせて、「毎日」が土佐久礼(4.9%)で平均(0.9%)の約5.4倍、高知県(1.0%)の4.9倍である。また総務省家計調査(※2)で日本一のかつお消費量を誇る高知市を抽出調査したところ、「毎日」が0.5%、「毎日+週に1回程度」が22.0%であり、こちらを上回っている。

●かつお摂取頻度は「月1回~半年に1回未満」がボリュームゾーンで、「毎日」は1%前後にとどまる都道府県が多い。

●好き嫌いでは、多くの地域が「とても好き+好き」が50~60%台で「嫌い」層は1桁%台にとどまるにも関わらず、食べる頻度は「半年に1回未満」が、土佐久礼と高知県を除く多くの地域で20~30%台となっている。これをもって、全国的には、「かつおは、好感度は高いが非日常の食材」という分析ができる。

●一方で土佐久礼では、「半年に1回未満」4.1%で、「**食べたことがない**」(0.8%)がほぼ存在せず、かつおが「特別な料理」ではなく**生活の基盤食材**として位置づけられている。

●「毎日+週1回程度」が高知県に次いで高いのは、生鮮かつお水揚げ量日本一を28年連続してきた(2025年を除く)気仙沼を有する宮城県である。

※単位(%)

	刺身	たたき	塩焼き	寿司	缶詰	かつお節	角煮	焼き節 煮節	その他 (TEXT 回答)	特にない
土佐久礼	66.1	85.0	10.1	15.0	2.6	22.5	8.8	22.3	7.0	2.1
北海道	36.1	58.0	6.5	15.1	9.9	31.4	2.8	4.0	0.2	18.1
青森県	49.0	62.8	6.2	14.7	8.9	26.5	3.4	4.3	0.2	14.3
岩手県	57.9	65.5	10.8	16.7	10.2	26.5	6.9	7.0	0.6	9.5
宮城県	54.3	61.2	9.5	17.9	11.4	27.8	7.5	7.0	0.9	12.8
秋田県	48.2	59.1	6.5	15.2	8.6	27.3	4.5	4.7	0.2	16.4
山形県	51.7	65.7	6.6	19.1	10.3	27.9	3.9	5.3	0.5	11.9
福島県	63.3	62.0	8.4	17.2	9.6	26.6	6.0	5.1	0.7	9.8
茨城県	53.5	57.7	8.2	18.7	9.9	29.7	7.9	6.1	0.4	14.2
栃木県	51.0	59.2	6.5	20.1	11.7	32.1	6.5	4.9	0.2	14.3
群馬県	46.5	58.6	8.0	18.9	8.3	28.7	5.7	5.3	0.0	17.0
埼玉県	47.0	59.5	8.9	21.3	11.0	31.6	8.8	6.8	0.2	16.0
千葉県	50.5	65.7	8.7	22.0	11.0	30.3	12.9	6.0	0.1	12.9
東京都	53.8	71.3	11.5	24.3	11.7	32.6	10.7	8.4	0.3	9.5
神奈川県	49.9	68.4	7.1	21.8	10.8	30.3	9.7	6.2	0.3	11.8
新潟県	43.4	65.5	6.0	17.3	10.8	28.5	3.9	5.3	0.3	14.0
富山県	31.7	62.6	7.2	14.8	8.6	31.0	3.2	4.1	0.1	14.0
石川県	33.3	68.4	7.1	16.1	12.6	33.6	4.2	5.2	0.3	12.9
福井県	32.3	69.1	5.4	15.2	8.5	35.1	3.2	4.3	0.2	12.8
山梨県	46.3	62.8	7.0	19.2	10.3	32.7	7.5	5.7	0.2	13.5
長野県	45.7	63.5	7.0	17.7	10.6	29.6	6.5	5.1	0.1	13.9
岐阜県	36.6	68.5	6.3	16.3	13.1	37.0	8.6	6.3	0.3	10.6
静岡県	55.5	62.4	7.8	18.7	11.3	35.3	11.3	7.8	0.6	11.7
愛知県	38.5	67.2	7.7	16.6	11.4	32.9	7.9	7.4	0.1	12.6
三重県	43.4	65.0	7.3	19.4	11.2	31.7	7.4	7.1	0.9	13.4
滋賀県	35.6	72.2	7.9	16.1	10.5	32.9	6.9	7.3	0.2	11.6
京都府	32.7	72.9	10.6	17.4	10.8	33.0	7.6	6.5	0.4	11.6
大阪府	35.1	74.3	8.4	18.6	12.0	37.3	7.6	8.2	0.0	10.0
兵庫県	33.2	74.6	7.3	15.4	10.8	34.5	7.8	7.5	0.4	10.3
奈良県	30.5	73.9	6.5	16.2	11.2	38.7	6.5	6.2	0.1	8.9
和歌山県	36.2	72.9	7.8	12.2	8.1	34.4	5.1	5.4	0.2	11.1
鳥取県	29.2	76.8	6.4	14.5	9.6	26.6	4.5	4.2	0.6	10.8
島根県	30.4	74.1	4.4	11.8	8.3	26.0	4.0	3.6	0.1	12.5
岡山県	28.7	72.4	8.5	15.4	10.9	32.4	5.0	6.3	0.0	9.9
広島県	26.4	72.5	7.7	11.8	8.2	28.5	4.7	4.9	0.1	14.3
山口県	27.6	69.8	5.9	12.2	9.4	33.3	4.3	3.8	0.3	11.7
徳島県	27.6	80.6	10.5	13.7	9.5	28.5	7.5	6.4	0.1	9.6
香川県	27.3	76.0	7.8	12.2	10.8	29.0	5.1	4.4	0.1	9.3
愛媛県	31.0	79.1	8.4	13.6	11.3	29.4	6.0	6.9	0.4	9.2
高知県	49.8	81.5	15.2	21.0	5.4	27.1	9.5	10.3	0.9	5.3
福岡県	37.4	66.2	9.1	18.2	11.2	33.0	6.3	7.4	0.3	14.5
佐賀県	37.5	66.7	6.5	14.1	10.2	34.0	3.7	5.2	0.2	14.3
長崎県	36.8	65.2	9.3	11.3	13.0	32.8	5.2	7.3	0.1	13.4
熊本県	34.5	63.0	5.7	13.7	9.6	34.7	4.9	4.6	0.2	14.7
大分県	32.7	67.3	7.9	11.7	9.3	29.6	4.4	5.7	0.3	12.9
宮崎県	48.5	67.8	7.6	16.8	10.6	31.5	8.5	8.5	0.9	12.1
鹿児島県	42.3	65.4	8.4	11.9	7.4	36.1	7.1	7.7	0.6	11.6
沖縄県	47.0	63.9	8.2	16.3	11.0	31.8	5.1	6.2	0.3	11.8
47都道府県平均	40.9	67.5	7.8	16.4	10.3	31.3	6.4	6.0	0.3	12.4

●好きな食べ方では、全国的に「刺身」「たたき」が上位、「かつお節」「缶詰」などの加工品は二番手以降という構図が多く県の異なる。そのなかでも、土佐久礼では、「刺身」66.1%、「たたき」85.0%と各項目で全国トップ、一方で「かつお節」が全国最下位となっており、土佐久礼のかつお食文化は、刺身＋たたきといった生食が核になっている。これは、一本釣り漁の町ならではといえるだろう。また、この生食の傾向は高知県も同様で、「刺身」49.8%、「たたき」81.5%となり高い値になっている。

●東京は、「寿司」が24.3%と全国トップで、外食・飲食中心の都市型消費の傾向がみられる。同様に神奈川・千葉・埼玉の首都圏エリアも「寿司」は21～22%と高い傾向にある。

●出汁・乾物・焼き魚などの加熱加工したかつおは奈良・大阪・兵庫などの近畿地域や海のない県で高い傾向である。また、かつお節の生産地である鹿児島も「かつお節」は高い傾向がみられる。

ココも注目！

土佐久礼は「その他(TXT回答)」の割合も多く、こだわりある様々な食べ方でかつおを楽しんでいることがうかがえる。

かつおめし	5件
カルパッチョ	3件
漬け	3件
土佐巻き	2件
ユッケ丼	2件
茶漬け	2件

薫焼きのたたき	1件
カヤ葉のタタキ	1件
皮付き刺身	1件
薬味や野菜がのったやつ	1件
ユッケ	1件
なめろう	1件

カツオフレーク(ふりかけ)	1件
つけ焼き	1件
ハランボの塩焼き	1件
フライ	1件
お好み焼き	1件
塩こうじ揚げ	1件

●全国的には、多くの県で「味が良い」「鮮度が良い」がトップ2を占めている。そのなかでも、土佐久礼では圧倒的にこの2点が高い。日々の実用的な品質の「鮮度」と「味」とが何より重視されていることがうかがえる。

※単位(%)

	味が良い	鮮度が良い	手頃な値段で食べられる	ストーリーがある	環境に配慮され、SDGsに貢献できる	栄養価が高い	その他 (TEXT回答)	特にない
土佐久礼	72.3	83.9	46.6	2.3	3.1	12.4	1.3	3.4
北海道	48.4	42.0	40.0	2.3	3.6	14.2	0.0	23.6
青森県	47.1	46.2	42.4	1.7	3.4	12.9	0.3	20.0
岩手県	54.8	51.4	45.8	2.1	2.1	12.7	0.1	14.6
宮城県	51.4	51.0	43.1	2.8	4.2	15.6	0.4	17.4
秋田県	49.9	45.0	43.4	1.5	2.3	12.5	0.4	21.2
山形県	48.1	48.0	46.5	2.7	3.0	14.1	0.3	18.5
福島県	52.9	56.2	43.4	2.6	2.8	14.7	0.2	15.8
茨城県	48.4	46.7	41.6	2.8	3.6	14.8	0.6	20.1
栃木県	49.4	46.4	39.8	3.0	2.4	14.3	0.4	21.0
群馬県	48.0	44.4	38.7	2.1	1.6	12.7	0.1	25.0
埼玉県	50.2	45.8	40.2	3.1	3.0	15.5	0.3	21.9
千葉県	53.1	49.7	41.6	2.1	4.0	14.0	0.5	19.3
東京都	56.1	52.6	41.1	3.3	3.7	18.5	0.1	15.0
神奈川県	53.8	50.5	41.0	2.8	3.1	13.2	0.3	18.6
新潟県	48.4	42.0	44.8	2.5	2.9	13.8	0.3	21.5
富山県	44.5	37.3	36.8	2.4	3.8	14.5	0.5	23.3
石川県	47.4	42.8	40.4	2.0	3.2	15.9	0.2	20.7
福井県	48.4	41.6	40.0	1.5	3.5	15.2	0.2	22.1
山梨県	49.4	46.3	39.7	1.8	2.4	14.8	0.2	19.3
長野県	49.4	43.9	40.5	3.0	4.2	18.7	0.2	20.8
岐阜県	49.9	44.1	39.9	1.4	3.3	15.3	0.5	18.2
静岡県	51.1	48.5	36.5	2.2	3.5	13.8	0.8	19.5
愛知県	50.5	47.1	40.3	3.4	3.9	13.8	0.1	19.6
三重県	48.3	46.6	38.8	2.4	3.5	14.5	0.1	19.4
滋賀県	51.1	45.3	42.7	2.9	3.5	16.7	0.2	19.3
京都府	54.5	46.0	43.0	2.0	3.7	14.4	0.2	15.9
大阪府	54.2	48.7	42.4	2.9	3.6	13.7	0.1	16.3
兵庫県	52.6	50.7	42.4	2.9	4.2	15.8	0.2	13.9
奈良県	50.7	49.6	43.4	2.6	2.4	17.4	0.1	15.2
和歌山県	49.8	49.9	40.0	2.4	3.4	13.2	0.1	17.6
鳥取県	52.1	44.6	42.6	2.3	3.7	14.2	0.3	17.4
島根県	50.9	44.8	36.2	1.8	4.4	10.9	0.1	20.5
岡山県	50.4	42.8	40.9	2.0	2.6	11.7	0.0	18.7
広島県	53.1	45.4	37.9	2.4	2.4	15.0	0.3	20.1
山口県	45.2	41.8	40.6	1.5	2.8	12.5	0.2	20.5
徳島県	55.7	49.2	44.4	1.9	3.0	16.4	0.3	14.8
香川県	48.5	50.4	41.4	2.5	2.3	14.4	0.2	16.2
愛媛県	53.7	53.8	41.9	2.8	3.9	12.9	0.2	16.0
高知県	61.8	68.1	44.5	1.4	3.1	14.1	0.1	8.1
福岡県	47.7	43.8	37.6	2.4	3.2	15.8	0.1	21.3
佐賀県	47.6	43.1	40.4	1.6	2.4	15.8	0.1	20.7
長崎県	50.0	45.8	39.1	3.6	3.5	15.3	0.0	18.9
熊本県	44.2	42.6	39.6	1.5	1.9	14.3	0.3	23.6
大分県	47.4	46.4	38.0	2.4	2.6	14.1	0.0	22.2
宮崎県	50.8	53.6	40.6	3.1	4.4	16.6	0.2	17.7
鹿児島県	48.1	45.5	37.9	2.4	3.6	17.8	0.0	19.2
沖縄県	52.7	49.5	42.0	3.3	4.5	15.8	0.3	17.3
47都道府県平均	50.4	47.1	41.0	2.4	3.2	14.7	0.2	18.9

●「よく知っている+知っている」の割合ランキング ※単位(%)

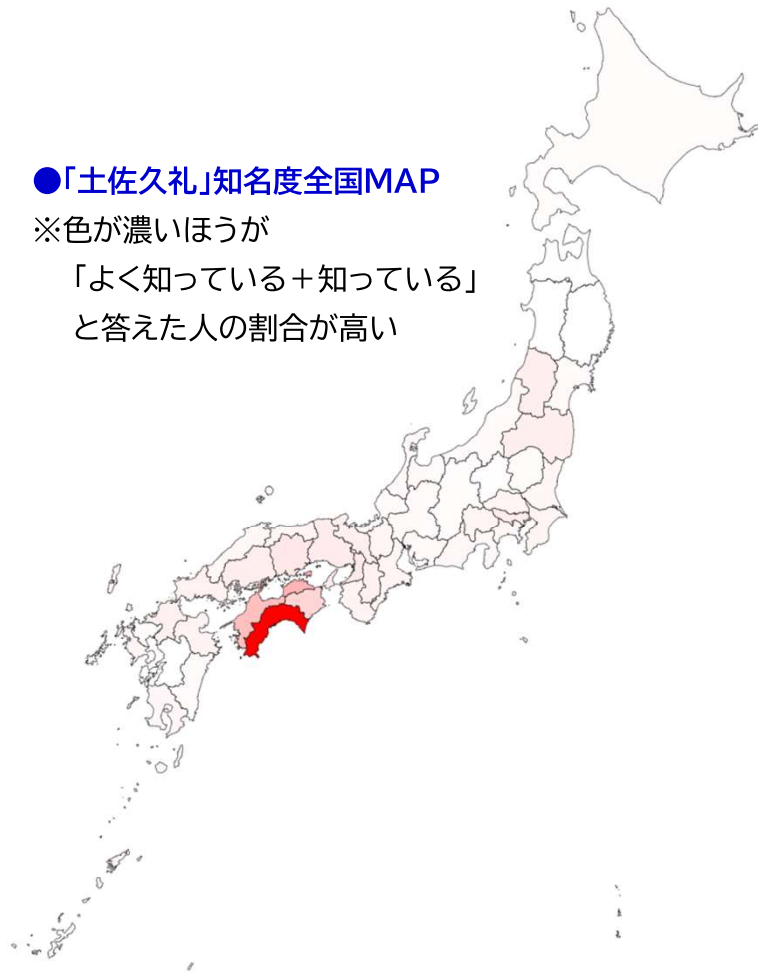
順位	エリア	よく知っている 知っている	聞いたことがある	知らない わからない
1	高知県	86.1	8.8	5.2
2	香川県	31.0	19.1	49.8
3	愛媛県	27.7	22.2	50.2
4	徳島県	21.2	21.2	57.7
5	岡山県	15.6	20.7	63.7
6	大阪府	15.1	21.6	63.3
7	兵庫県	14.3	19.7	66.0
8	東京都	14.3	17.4	68.3
9	広島県	13.9	20.9	65.2
10	福島県	13.3	19.1	67.6
11	京都府	13.1	20.3	66.6
12	奈良県	12.9	22.2	64.9
13	福岡県	12.7	16.7	70.5
14	山口県	12.6	20.6	66.8
15	和歌山県	12.1	20.4	67.5
16	大分県	11.9	20.1	68.0
17	鳥取県	11.7	19.4	68.9
18	山梨県	11.7	19.8	68.5
19	千葉県	11.6	17.0	71.5
20	三重県	11.6	23.3	65.1
21	埼玉県	11.5	19.0	69.6
22	滋賀県	11.4	20.2	68.3
23	神奈川県	11.3	19.2	69.4
24	長崎県	11.2	19.3	69.5
25	茨城県	11.0	17.4	71.6
26	鹿児島県	11.0	17.4	71.6
27	島根県	10.9	22.3	66.7
28	石川県	10.7	18.8	70.5
29	静岡県	10.7	19.1	70.2
30	愛知県	10.5	15.8	73.7
31	宮城県	10.4	20.2	69.4
32	岐阜県	10.3	21.0	68.7
33	沖縄県	10.2	17.3	72.5
34	新潟県	10.1	18.6	71.3
35	富山県	10.0	17.3	72.6
36	栃木県	9.9	20.5	69.5
37	宮崎県	9.9	20.0	70.1
38	福井県	9.8	22.4	67.8
39	佐賀県	9.7	19.0	71.3
40	北海道	9.7	18.7	71.6
41	長野県	9.5	20.9	69.5
42	青森県	9.2	16.9	73.9
43	群馬県	9.1	17.2	73.7
44	岩手県	8.8	17.8	73.4
45	熊本県	8.8	18.3	72.9
46	秋田県	8.6	18.8	72.6
47	山形県	7.2	18.2	74.6
47都道府県平均		13.46	19.22	67.32

●高知県内では「よく知っている+知っている」が86.0%に達し、土佐久礼は地元の高知県内では常識レベルの認知度に。また、四国の他県では「よく知っている+知っている」が30%前後で高い認知度をおさめている。

●一方で、47都道府県平均では13.5%。かつお好きの高知県民には認知されているが、全国的にはまだ「知る人ぞ知るかつおの町」である。

●「土佐久礼」知名度全国MAP

※色が濃いほうが
「よく知っている+知っている」と答えた人の割合が高い



魚ビジネス・水産物ブランディングの専門家 ながさき一生氏

土佐久礼は、まさに「かつお愛日本一」の町！

釣る・売る・食べるプロが融合した「かつおの聖地」

土佐久礼の凄みは、400年以上続く一本釣りの「コア産地」でありながら、優れた目利きで販売される「コア流通地」でもあり、住民の8割以上がかつおを愛する「コア消費地」でもあります。この釣る・売る・食べるプロが集中しているという地域は、全国的にも極めて稀有でしょう。それは今回の調査結果にも表れています。土佐久礼では「週1回以上かつおを食べる」という人が47都道府県平均の7倍おり、高度なかつお食文化が地元の当たり前になっていることが伺えます。

鮮度への妥協なきこだわりが生んだ「刺身・たたき」中心の生食文化は、まさに産地直結の特権です。この「かつお愛」こそが、単なる消費を超えた文化と地域の誇り(シビックプライド)を形成し、次世代へ食文化をつなぐための最大のポイントとなるでしょう。

また、食としての魚の評価指標は、これまで「水揚げ量」や「消費量」「支出金額」といった統計上の数字で語られがちでした。これに対し、今回、「愛着度」という指標で日本一を掲げたことは、画期的な試みといえます。



(株)さかなプロダクション代表取締役 フェロー/(一社)さかなの会 理事長/東京海洋大学講師
著書:『魚ビジネス』『最強の寿司ビジネス』『寿司ビジネス』ほか

漁師の家庭に生まれ、幼少期から漁業と流通の現場に触れる。東京海洋大学卒業後、築地市場の卸売企業で水産物流通に従事。その後、同大学大学院にて魚のブランド化と知的財産を研究し修士課程を修了。

2017年にさかなプロダクションを創業。水産物のブランド戦略や商品設計、販路構築まで一体で手掛け、自治体や企業の支援を行う。ふるさと納税の返礼品コンテンツ監修では先駆的な取り組みを行い、数多くの地域産品の価値向上と売上創出に貢献。著書『魚ビジネス』は3万部を超え、水産業の価値創出を体系的に解説するとともに、魚の魅力をメディアで伝えている。

高知県中西部に位置する中土佐町久礼地区(土佐久礼)は、400年以上にわたりかつお一本釣り漁が受け継がれてきた漁師町です。2011年には漁師町として全国で初めて国の重要文化的景観に選定されました。町には、鮮度にこだわりかつおを釣る漁師、目利きに優れた鮮魚店や加工事業者、味の違いを知る町民がそろい、「釣る・売る・食べる」三拍子のかつおのプロがそろって独自のかつお食文化が息づいています。毎年、県内外から多くの人々が“本場のかつお”を求めて訪れます。



土佐久礼の「かつお×●●」ピックアップ

<p>漁業</p> <p>鮮度抜群の一本釣り日戻り漁</p> <p>かつお船が4隻あり、出航から24時間以内で水揚げする日戻り漁。釣った後は氷をきかせ鮮度維持にこだわっている。</p> 	<p>イベント</p> <p>初鯨を満喫！「かつお祭」</p> <p>1990年から毎年5月にある一大イベント「かつお祭」は、2025年から「かつお祭ウィークス」として町全体の企画になり、今も進化中。</p> 	<p>観光スポット</p> <p>年間15万人以上が訪れる！かつおが名物の商店街</p> <p>久礼大正町市場は、一度も冷凍していない生かつおの刺身や薫焼きタタキが人気の、高知を代表する観光スポット。</p> 
<p>関連スポット</p> <p>かつおの絵馬や、町なかにもかつお</p> <p>久礼八幡宮の「かつお」「タタキ・刺身の盛り合せ」絵馬。かつお絵の仕切弁フタも。</p> 	<p>観光ツアー・体験</p> <p>かつおツアーや薫焼き体験</p> <p>かつおの競り見学などのガイド付きのかつおツアーや、町内には薫焼き体験ができる施設も。</p> 	<p>夜の料理</p> <p>居酒屋・スナックで夜かつお</p> <p>昼だけじゃない！地元民が通う居酒屋やスナックは、選りすぐりのかつお料理が充実！</p> 
<p>商品</p> <p>薫焼きタタキや赤身以外の商品</p> <p>各店こだわりの焼き方で仕上げたかつおのタタキや希少部位・ハランボが、通販やふるさと納税でも取り寄せ可能。</p> 	<p>ペアリング</p> <p>かつおにあう酒、塩、コーヒーまで!?</p> <p>小川製塩所がつくるタタキ専用の天日塩や、コーヒーポルタのかつおの食後にあうコーヒー、西岡酒造の地酒「久礼」などかつおと一緒に楽しんでも。</p> 	<p>教育</p> <p>英才かつお食育の授業</p> <p>中土佐町の全小中学校で、鮮魚店を講師に迎え、かつおのテイスタングやさばきなどをテーマにしたかつお授業を実施。</p> 
<p>SDGs</p> <p>「かつお堆肥」や、生食に不向きなかつおの商品化</p> <p>生食に不向きな「ゴシ」のかつおは加工品として活用。中里自然農園では、かつおのあらを使った堆肥で野菜を育てている。</p> 	<p>啓蒙・PR</p> <p>高知龍馬空港のタタキオブジェ</p> <p>手荷物ターンテーブルに巨大&実寸タタキ、丸かつおを設置。高知の玄関口でかつおでお出迎え。</p> 	<p>アート</p> <p>カツオアート</p> <p>焼津市発祥の「カツオアート」を中土佐町版として展開。大野見産の四万十ひのきを使い、かつお祭にあわせ「カツオアート展」を開催。</p> 

「シン・鯨乃國プロジェクト」について

人口が減少している中土佐町で、「かつお」を軸に、豊かで持続可能な、世界で唯一無二の「かつおの町」づくりを目指す官民連携の取り組み。2024年4月に「シン・鯨乃國プロジェクト」推進協議会準備委員会が発足し、2025年4月に「シン・鯨乃國プロジェクト」推進協議会がスタート。協議会メンバーは、中土佐町商工会、久礼漁業協同組合、なかとさ観光協会、町有施設運営事業者(企画・ど久礼もん企業組合)、中土佐町で構成。水産・商工・観光の振興、教育・文化、資源循環や町のブランディングなど、多面的かつ横断的に取り組みます。

【本調査に関するお問い合わせ先】

「シン・鯨乃國プロジェクト」事務局 担当:久竹、竹田

TEL:0889-52-2365 (中土佐町役場まちづくり課内) MAIL:katsuo-pj@town.nakatosa.lg.jp

※本調査結果および詳細のデータはご使用頂けます。ご使用の際は、必ず上記担当者までご連絡ください。